

教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重を基調とし、心身共に健康でたくましく、知性と感性に富む、人間性豊かな児童の育成を目指す。加えて、地域人・日本人・国際人としての自覚と教養を高め、「共生と自立」の精神の養成を図る。そのために、以下の目指す児童像を設定する。

- ・ 思いやりと正義感のある子
- ・ 自ら学び考える子
- ・ 健康で明るい子

(2) 目標を達成するための基本方針

「共生をはぐくみ、自立を支援する学校」「児童にとって生きがいとやりがいのある魅力的な学校」という方針のもと、以下の基本方針を設定する。

- ①人間尊重を「生命尊重」「人権尊重」「個性尊重」の3つの視点からとらえ、全ての教育活動を通して、その充実を図っていく。そのために、児童理解に徹し、一人一人の児童の良さや優れたところを見だし、自己肯定感を育み、その子らしさが発揮できるようにする。
- ②「共生を育み、自立を支援する教育活動」を念頭に、児童一人一人に思いやりの気持ちを育て、主体的に活動しようという心情と実践力を育てる。
- ③基本的な生活習慣、学習習慣や規律の定着を図り、秩序ある集団づくりを進めるとともに、家庭・地域とも連携して児童一人一人の規範意識の伸長に努める。
- ④各教科等の授業時間を確保し、指導法の改善、ICT機器の活用などを通して日々の授業の充実を図ることにより、基礎的、基本的な事項の着実な定着を目指す。さらに、体験的な活動や問題解決的な活動を積極的に取り入れ、児童が意欲的に学ぶ場を設定し、一人一人の思考力・判断力・表現力などの資質・能力を高める。
- ⑤児童に「人間として生きていく上で大切なことを感じ取り、将来出会うであろう様々な場面や状況において、道徳的な価値を実現するための適切な行為を実践できる資質」を養うために、道徳の時間を要として、学校教育全体を通して道徳教育の充実を図る。
- ⑥運動能力の向上や体力の増進を目指して、児童が運動に親しみ、日々体を鍛えることができるような環境づくりと指導に努める。あわせて「早寝・早起き・朝ごはん運動」等を通して、児童の健康習慣の充実を図る。
- ⑦小中一貫教育を見据え、幼・保、中学との連携を密にし、相互の教育活動の交流を図り、円滑な接続を図っていく。
- ⑧特別支援教育を組織的に進め、個に応じた指導を計画的に推進していく。
- ⑨校内研究・研修の活性化を図り、一人一人の教職員の指導力向上に努める。

(3) 本校の教育の特色

- ・ 基礎的・基本的な学力の定着を図るために、算数において習熟度別少人数学習を進める。また、補習教室を充実させ、算数の基礎・基本的な計算力の定着を図っていく。
- ・ 読書活動を推進するため、週1回、朝の読書時間を設定する。また、読書週間を各学期1回設け読書に対する関心を高める活動をより充実させるとともに、国語力、言語力の向上を図る。
- ・ 総合的な学習の時間では、地域人材を活用したものづくり学習や、体験学習を進めていく。
- ・ 祖父母・地域のお年寄りとの「ふれあい給食」、保育園・特別養護老人ホームとの交流活動等、人とのかかわりを広げ、深めるための活動を進めていく。
- ・ P T A や町会と連携した「七夕まつり」「お正月遊び」等、保護者・地域と協力した教育活動を進めていく。
- ・ 学校支援地域本部「スクールサポート東六」と連携し、地域の教育力を活用していく。